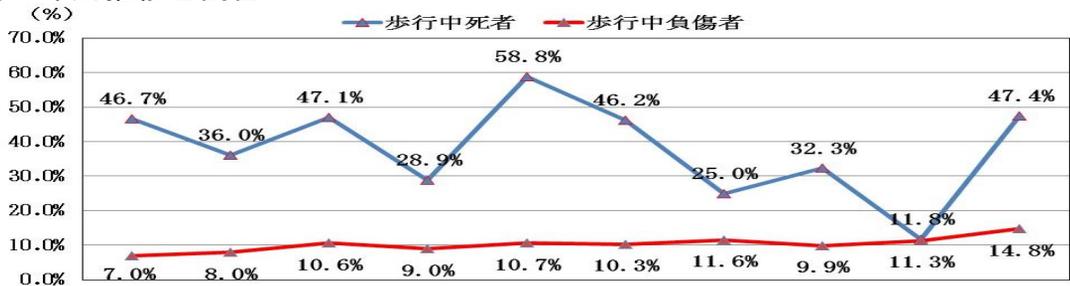


子どもの歩行中の交通事故に関する分析結果 ～ 過去10年間（平成24年から令和3年）の分析 ～

1 歩行中死傷者数の推移（平成24年から令和3年）

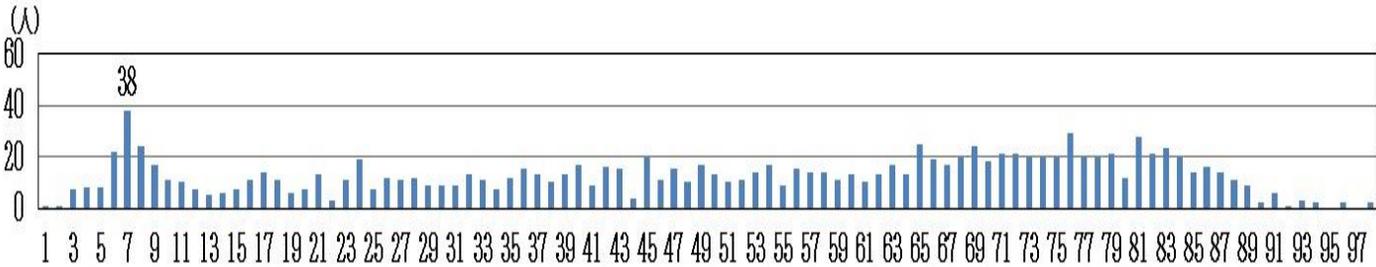
(1) 死傷者の年別推移と割合



	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	合計
歩行中死者数	14	9	16	11	10	12	5	10	2	9	98
歩行中負傷者数	116	129	148	113	133	120	119	95	85	103	1161
割合											
歩行中死者	46.7%	36.0%	47.1%	28.9%	58.8%	46.2%	25.0%	32.3%	11.8%	47.4%	38.1%
歩行中負傷者	7.0%	8.0%	10.6%	9.0%	10.7%	10.3%	11.6%	9.9%	11.3%	14.8%	9.9%

- 過去10年間（平成24年から令和3年）、歩行中の死者の割合は増減を繰り返しており、令和3年は全死者の47.4%
- 負傷者の割合は、年々増加傾向にあり、令和3年は14.8%と過去10年で最大

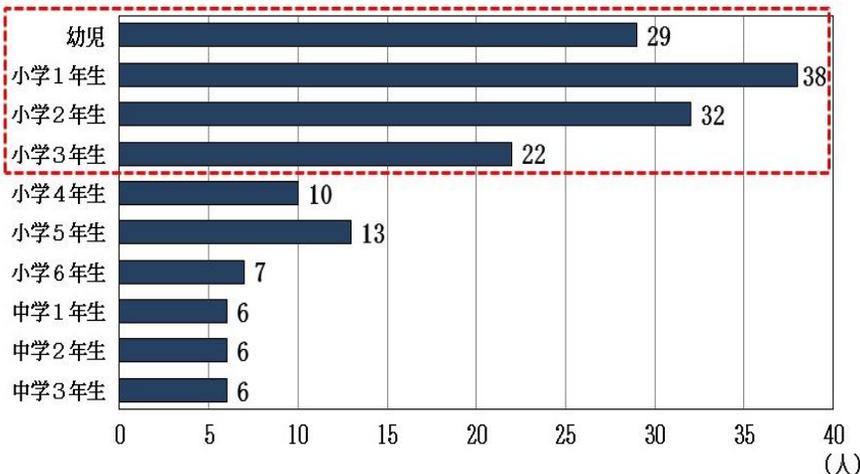
(2) 年齢別死傷者数



- 全年齢のうち、7歳が（小学1・2年生）が38人と最多
- 10代から減少傾向で推移するも、60代中盤から増加傾向

2 子どもの歩行中の交通事故発生状況

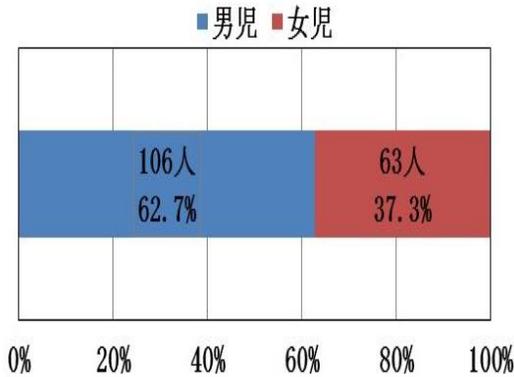
(1) 学齢別死傷者数



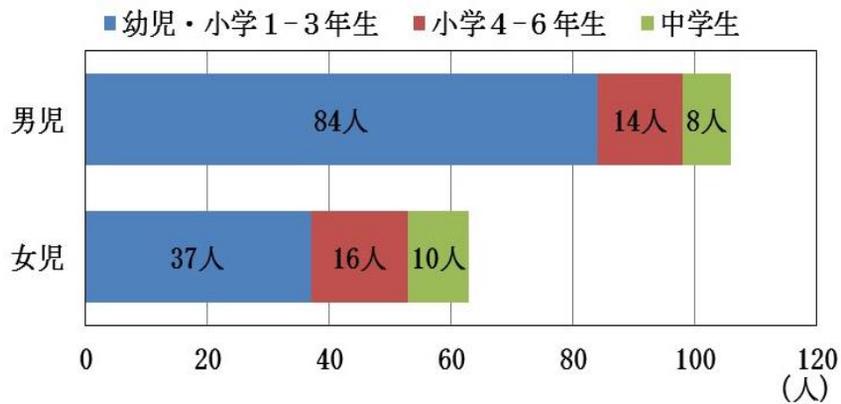
- 過去10年間で、169人の子どもが歩行中に死傷
- 幼児から小学3年生で、121人が死傷し、低学年での歩行中の死傷が顕著

(2) 男女別死傷者数

ア 男女別



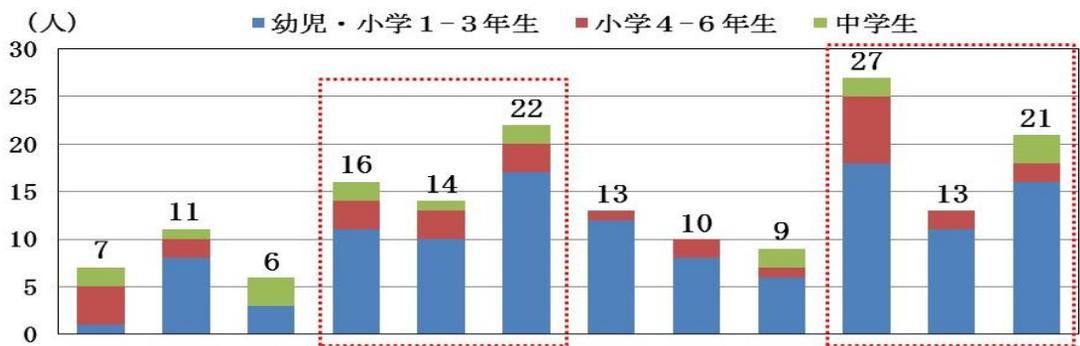
イ 学齢別



- 男児の死傷者数は、女児の死傷者数の1.7倍
特に、幼児から小学3年生では、男児の死傷が女児の2.3倍と被害が顕著

(3) 月別死傷者数

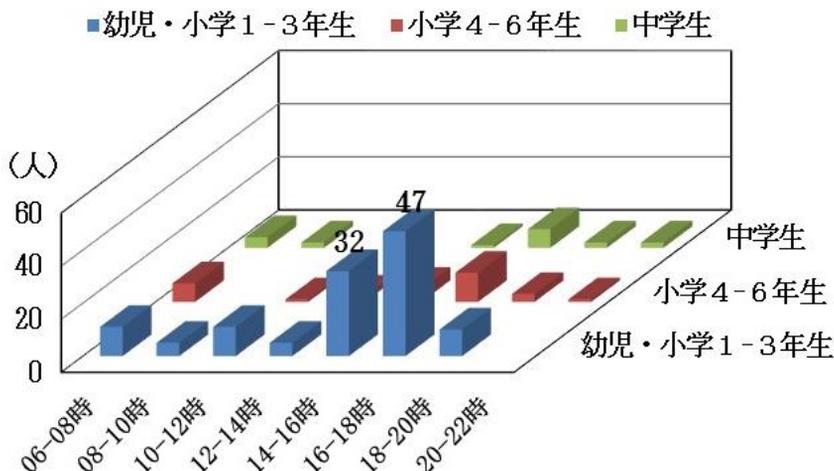
(人)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
幼児・小学1-3年生	1	8	3	11	10	17	12	8	6	18	11	16	121
小学4-6年生	4	2		3	3	3	1	2	1	7	2	2	30
中学生	2	1	3	2	1	2			2	2		3	18
合計	7	11	6	16	14	22	13	10	9	27	13	21	169

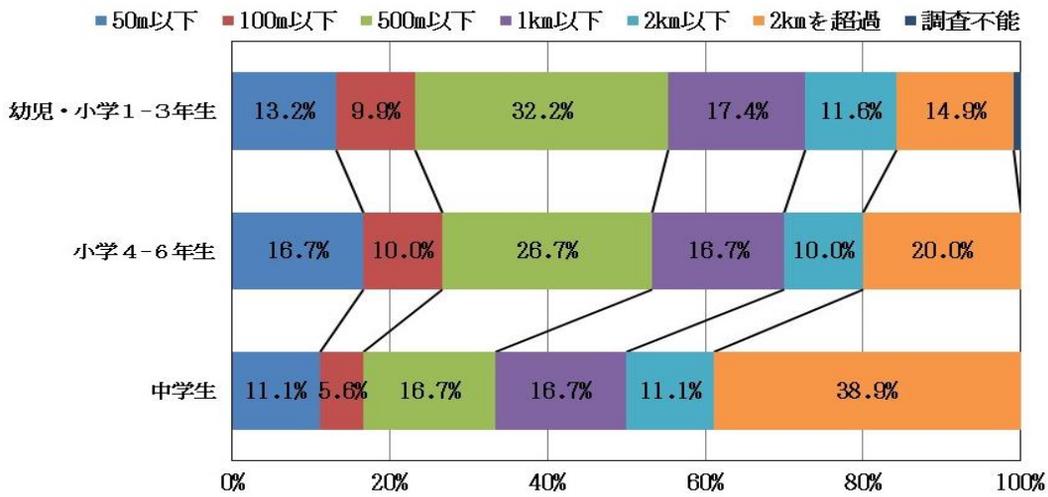
- 4月から6月及び10月から12月にかけて、子どもの歩行中の被害が増加
特に、幼児から小学3年生では、その傾向が顕著

(4) 時間別死傷者数



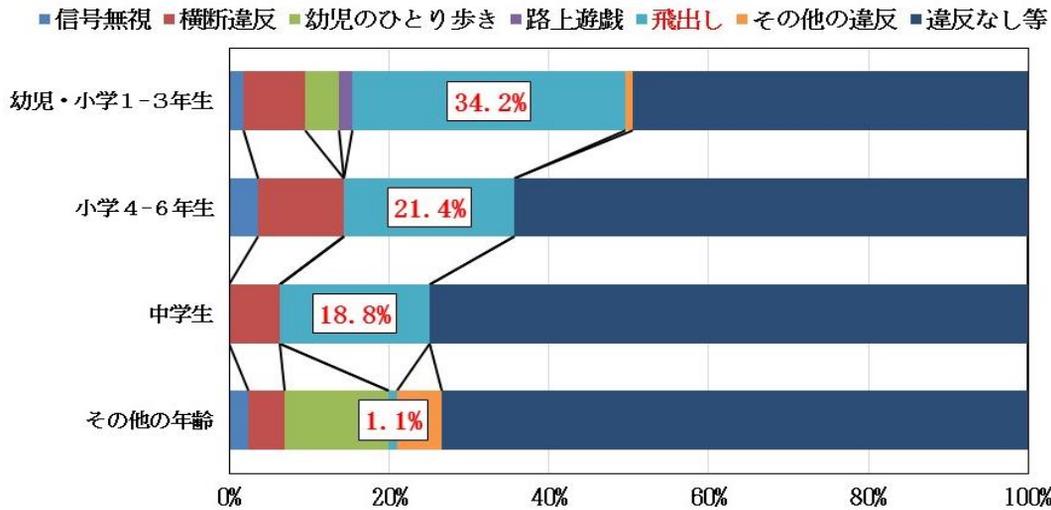
- 下校時間帯の14時台から17時台に被害が集中
- 特に、幼児から小学3年生では、その傾向が顕著

(5) 自宅からの距離別死傷者割合



○ 自宅からの距離別では、500m以下の比較的自宅から近距離の場所における被害が多発し、特に低学年ほどその傾向が顕著

(6) 法令違反別死傷者割合（第1当事者及び第2当事者）



○ 子どもの歩行中の死傷者161人中（第1当事者及び第2当事者）73人（45.3%）に法令違反があり、うち「飛出し」の割合が法令違反ありのうち67.1%

○ 飛出しの割合は、低学年ほど顕著で、幼児から小学3年生では、その他の年齢と比較して、31.1倍と突出